地

を去りガリラヤに戻るため、 主イエスと弟子たちは、ユダの

サ

マリアを通過しようとしていまし

り入れを待っている。」(三五節)

更新公道

編集 会長 佐野英一

史 会

発行:更新伝道会 委員長 (通信先)〒一六五-○○三五

中野区白鷺二-四七-一〇

No.136

Tel 〇三(三三三八)七九七三

(更新伝道全体会) 「目を上げて畑を見なさい!」 開会礼拝説教

ヨハネ福音書四章三一節~三八節

呉平安教会牧師 小林克 哉

教会では実りは期待できないと考

国では、自分たちの教会が建って 時の弟子たちと同じように、この う。私たちはどうでしょうか。この 不毛の地だと思っていたでしょ

いるこの町では、今のままのこの

「昨年十二月初旬 ウオータス兄ハ 日本年会の記録にこうあります。 の種を蒔き始めたのです。 ソジストの宣教師、伝道者は福音 社会に受容されていない時代にメ しました。今以上にキリスト教が 呉講義所として伝道の歩みを開始 り入れを待っている。」(三五節) げて畑を見るがよい。色づいて刈 私が遣わされている呉平安教会 主イエスは言われます。「目を上 一九〇四年二月に南美以教会 。当時の

> げて畑を見るがよい。色づいて刈 枢要ノ地」に見えたというのです。 地ではなく、「伝道ノ機会ニ富メル 初の伝道者たちの目には、不毛の ラレンコトヲ希望ス。」宣教師や最 監督ニョリテ定住伝道者ノ派遣セ 二月講義所ヲ借リ入レ・・・吾 機会ニ富メル枢要ノ地ナレバ本年 同市ハ人工7万以上ニシテ伝道ノ 期伝道ニ就テノ意見ヲ求メラル 訪問セシメ同時ニ万事ヲ視察シ定 砂本ヲシテ呉市ニ住スル我会友ヲ 人ハ此ノ有望ノ地ニ年会議長ナル 主イエスは言われます。「目を上

種を蒔かれるのです。 かけられます。将来の実りを信じ 主イエスはサマリアの女性に声を たちの罪があります。主イエスの 目には違って映っていたのです。 えていないでしょうか。そこに私

ません。実りはない、やめておいた 者の町に行って伝道した時も、 は実りをもたらしたのです。考え ないか。しかし、蒔かれた福音の種 集会に来ても、 真宗の門徒として長く生きてきた 洗礼を受けた方があります。 メリカ伝道もそうだったかもしれ てみれば、J・ウェスレーが労働 人はさすがに無理でないか。 方です。キリスト者の家族がいる わけでない九十代の方です。 最近、私たちの教会で九九才で 洗礼までは無理で この 家庭 ア

何でもありませんでした。ここで にとってサマリアは通り道以外の し合う関係でしたから、弟子たち た。ユダヤ人とサマリア人は敵対 げて畑を見るがよい。色づいて刈 しょう。 ほうがいい、 主イエスは言われます。「目を上

という人もあったで

伝道しても何の実りも得られな

そ、この世界に蒔かれた種です。 して、種を蒔く人も刈る人も、 ために召されているのです。「こう す。わたしたちはその刈り取りの 四)主イエスが蒔いてくださった ねば、多くの実を結ぶ。」(一二:二 れば、一粒のままである。だが、死 「一粒の麦は、地に落ちて死ななけ 三〇)。この主イエスの十字架こ 架の上で叫ばれた言葉です (一九: 足=満腹があるのです。「成し遂げ です。そこに御子の喜びがあり、満 子は御父しか見ていません。 ある。」(三四節)と言われます。 行い、その業を成し遂げることで エスは「わたしの食べ物とは、わた り入れを待っている。」(三五節) 命の種が救いの実をもたらしま る」という言葉は、主イエスが十字 の献身とは御父の御心を行うこと しをお遣わしになった方の御心を 弟子たちの質問に対して、主イ

げて畑を見るがよい。 り入れを待っている。」(三五節) 主イエスは言われます。「目を上 色づいて刈

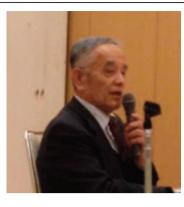
喜ぶのである。」(三六節)

主題講演

更新伝道会の将来

ーメソジストの宝を確認する

伊 藤 瑞 男 教団副議長、大泉ベテル教会牧師



I わたしの教派的体験

の伝統を持つ岡山市の蕃山町教会 神学生時代をすごした。神学校卒 つ日本基督教団頌栄教会に移り、 国際基督教大学教会であった。そ 超教派の、 てであった。洗礼を受けた教会は 内村鑑三・矢内原忠雄の本によっ 宣教師の家庭集会において、 校生のとき、アメリカ人の福音派 に伝道師として赴任し、 わたしが求道を始めたのは、 メソジスト教会の伝統を持 旧日本基督教会(長老派 無教会の人たちを含む 三年間す また 高

> 長野県、 た。静岡教会から、静岡県、山梨県 と双子教会の関係にあり、 二十九年間働いた。静岡教会は、上 七年間仕えた。その後、静岡教会に 教会の伝統を持っていた。ここに 師によって建てられた旧日本基督 た教会は埼玉県の岩槻教会で、こ 神学校で学んだが、それは長老派 が展開されていった。 メソジスト教会が明治七年に建て 記頌栄教会の前身である牛込教会 れは、ドイツ系改革派教会の宣教 の神学校であった。帰国後赴任し ごした。その後、二年間アメリカの および北陸の各地に伝道 カナダ

> > となどである。

II メソジストの宝

教会と比べて、 それ以前に仕えた旧日本教会系の 統 5 5 仕えた静岡教会はメソジストの伝 を意識して守ってきた教会で、 れてきた。とりわけ、29年間も 以上のような伝道牧会の経験か 教派的伝統の意味を考えさせ 違いを痛感させら

> 徴は、 教育、キリスト教社会事業などに ざまずいて受けること、教会役員 熱心で、関連施設を持っているこ ること、伝道と交わりを大切にす 員の居住区域別の組織を持ってい を幹事と呼ぶこと、組会という会 わないこと、牧師を大切にするこ ること、神学など理屈はあまり言 れた。メソの伝統を持つ教会の特 幼稚園・学校などキリスト教 聖餐を礼拝堂の前に出てひ

会の業を広げた。 聖化を追求し、キリスト者の完全 であり、産業革命の変動の中で苦 きをなした。それは目覚しい伝道 経験し、そこから新しい、巨大な働 国教会の牧師であったが、 ると、私は思う。ウェスレーは英国 ン・ウェスレーが示した霊性にあ り のはなんであろうか。それは、やは を主張した。同時に、世に仕える教 た。その中で、ウェスレーは自身の しむ庶民のための救援事業であっ これらの諸特徴の中心にあるも メソジスト教会の創始者ジョ 回心を

1 は国教会を出なかった。ウェスレ したウェスレーであったが、 は教会を割って出るという教会 国教会の枠からはみ出た働きを 自身

> があったと思われる。 つなる公同の教会への服従と敬虔 ではないかと私は思う。そこに、一 分裂の模範を示したくなかったの

化によって動的となる。 成へと向かうのである。信仰も義 長い人生にわたって発達、成長す 解に合致している。すなわち、人は 持つと思う。それは、現代の人間理 っている。 クグラスは霊性を定義してこう言 認のみでは、静的になり勝ちで、聖 えば、人は神に向かって成長し、完 るということである。聖書的にい 霊性の重視は、 現代的な意義を 神学者マ

ことを求めることであり、 た本物のキリスト者の存在となる るものである。 人生のすべての経験とを統合させ ト教信仰の基礎と枠組みの中での ト教の基本的な考え方と、 「キリスト教の霊性は、満たされ キリス キリス

向かう。それは個人の人格形成か 部分同士の結合へ、そして全体へ 分が突出して優れているだけで、 ら、教会の形成、また社会の形成ま 全体を目指すのである。部分から、 満足してはならない。欠けのない な「統合」を意味している。 キリスト者の完全は、 このよう 。ある部

聖餐の与り方を学べば、

その解決

も応答性と敬虔を重んずるメソの聖餐が問題になっているが、これる。教団において、いわゆるフリー共にメソジストが培ったものであ

ると言った、と聞いた。ここに、2 グラハムは、 ない方向を目指している。ビリー・ 教会がある。UMCは、アメリカ主 にアフリカの諸国にもその傘下の で成り立っていない。世界各地、特 アメリカの合同メソジスト教会 バルな視点を持っていた。 り」と言ったウェスレーはグロー なっている。「世界はわが教区な 1世紀のプロテスタントの可能性 に資するのではないか。 (UMC)は、アメリカの教会だけ -の植民地主義的な教会とはなら 現代はグローバリズムの時代と UMCに注目してい 現在の

があるかもしれない。

Ⅲ 更新伝道会の将来─教団の中で

し、こう述べている。 ・ 「日本メソヂスト教会教義及条「日本メソヂスト教会教義及条

おいて、自由と人権尊重は世界共応答性の強調につながる。現代に霊の働き、および人の自由意志と

「日本メソヂスト教会の総則、

諸

心価値観となりつつあるが、

は他のプロテスタント緒教会と

と是也。」 規則及び慣例の目的は他にあら 規則及び慣例の目的は他にあら が。即ち世の終わりまで伝道を為 エス・キリストの教会の中の諸教 派と同胞の交わりを厚うすること に於て、率先者となりて以って神 の命じたまへる事業を全うせんこ と是也。」

成 があるからである。今、教団は再形 派 うとしたのではないか。それは正 中にアイデンティティーを見いだ 我々の先輩たちは旧メソの伝統の 系の教会は教団形成のために旧教 であった。それまで、旧メソジスト しかったと思う。それぞれの旧教 かし、この混乱した教団を見て、 派的活動は控えてきたようだ。 した。それは、教団紛争がきっかけ 更新伝道会は一九七一年に発足 の途上にある。 の中にお互いに信頼できる霊性 その足場から教団再生を図ろ 教団は信仰告白

る。私はこれだけでは足りないとって教勢の建て直しを図ってい規によって法的秩序を、伝道によによって教義の一致を、教憲・教

う。の追求が教団形成に寄与すると思思う。メソの〈霊性および道徳性〉



会が家族であり親戚のようなもの

全体委員会奨励

三木信 弘 兄 北広島教会教会員



年に百歳で召天した父・三木弘の 親戚のいない二人となったが、 抜いた、生粋のメソジストでした。 戦前の厳しい思想弾圧の中で生き 戚から交際を絶たれた。両親共に また父と結婚したとき、 切って同じ教会で洗礼を受けた。 を受けた。母も家族の反対を押し メソジスト教会・根岸教会で洗礼 教師G.バット牧師に出会い日本 上京して、カナダ・メソジスト宣 ことを抜きに語ることは出来な 私の信仰を語るとき、二〇一 京都で宮大工をしていた父は 全ての親

> を守れということでした。 ジであり、生き抜いて、家族と教会 き、父に託した聖句は 後の米国行きの船で帰国されると でした。バット宣教師が戦前 かず、銃を持つなというメッセー 六章二六~二七でした。 戦場に行 マタイ十 の最

りの生活をしながら支えあってい 神の家族としての教会を、ぎりぎ びつを見せ合って、メソジストの る。 しい時なのだ"と聞いている。 た喜びを高らかに歌うもので、 た。メソジストの礼拝は、"救われ みで教会を支える苦しい事態にな 会員は教会を離れ、役員家族の 役員と牧師家族がお互いの米 嬉

られ、 葉を聞いて、行動する」のがメソジ 事が実現できたのだと思う。「み言 した。メソジストの信仰は、行動す 尽力され、ララ物資の提供が実現 る信仰であったので、このような マッカーサーと共に日本に再度来 戦争が終わり、バット宣教師が 父の提案でバット宣教師が

象に残っている。 すというのは、重要な事だと思う。 時も常にツメ入りの牧師服を着 下さった。牧師先生は、外出される こと、将来のことなど話を聞 家庭訪問をして下さった。学校の た。青山学院教会の牧師は、 の私の教会学校の生活が始まっ 越した。そこから青山学院教会で 高校生では神学部の先生、 スト教徒であることを、服装で示 て、家庭訪問をされていたのが印 ストだから。まもなく渋谷に引っ 人々の中でキリ 神学生

リート・ミキサー車や、鉄筋納入 ないようにとか、 いる中で貧しい人がいる事を忘れ 上がって行く感動、 場の現状を記録した。会堂が立ち 業者から全て伝票を受け取り、現 くに現場にゆき、 多記念教会の会堂建築では、朝早 場で、何かしらの手伝いをさせら 神学、教会運営などの中で育てら あった。青山学院教会が伝統とし れた。高校生の時、夏休みに鶴川の れてきたのは幸いであった。 て引き継いできた、メソジストの 農村伝道神学校の現場に、また、本 会社が請け負った教会堂の建築現 父の思いがあっ 朝に入るコンク 労働者と共に 父の

> ラル・エコノミーを実践する所で あった。 た。父の会社経営は、Wesley のモ

その中で北広島教会という群れ 徒でありたいと思う。 でも、キリストによる希望によっ か。明日の将来をみすえるとき、今 が、これからをどう生きてゆくの 共同体としての全体教会があり、 かない私達だが、 的な状態にある。 年のように召天し、財政的に危機 ある聖日には三〇〇k m弱のドラ ら開学した公立はこだて未来大学 て生かされている喜びを歌う礼拝 ならない。そして、厳しい現実の中 日をどうするのかを考えなくては 北広島教会は高齢化した会員が毎 イブをして役員を続けている。今、 に職場が移り、函館から役員会の に関わった。二〇〇〇年に、北大か 幌教会の役員となり、北広島伝道 私は北大大学院生時代から、 み言葉を聞いて行動する信 キリストに従う ただ主に祈るし

との討論があり、相当のレベルで



全体委員会閉会礼拝

神

の国に仕える者」 大村栄 ルカ福音書七章一 更新伝道会全体委閉会礼拝



ださい」(七節)。来ていただかなく そして、わたしの僕をいやしてく だ「ひと言おっしゃってください。 うな者ではありません」(六節)。た 自分の屋根の下にお迎えできるよ は及びません。わたしはあなたを 部下の病を癒すために彼の家に向 かう主イエスに、「主よ、御足労に お言葉が与えられれば僕は

隊がおり、一人に『行け』と言えば いる者ですが、わたしの下には兵 癒されると確信している。 わたしも権威の下に置かれて

ーマ軍の百人隊長は 自分の

行きますし、 他の一人に『来い』と

> す」(八節)。これを聞いて主イエス 言えば来ます。また部下に『これ 権威の下に置かれています。 なたは人間の権威ではなく、 たことがない」(九節)と賞賛した。 は、「わたしはこれほどの信仰を見 しろ』と言えば、そのとおりにしま の権威の下に置かれているが、あ いる者ですが…」、私はローマ皇帝 わたしも権威の下に置かれて 神の

ます。 のです。 の権威によって命じれば服従する はなく、世界のすべてのものに、神 皇帝の権威によって命じれば従い 「わたしの下には兵隊がおり」、 しかしあなたは百人程度で

う懇願したのである。 の部下は必ず癒されます。彼はそ ら出て行け」と命じて頂ければ、 私の部下の病に対して、「この者か ですから主よ、みこころならば 私

タリティーが、 軍人はその職業柄、 国家に忠誠を尽くす。そのメン イエスを遣わされ 権威に服従

にとって国家への忠誠が絶対であ 鑑(かがみ)だ」と喝采を受ける。彼 の場にいた米国人たちに「軍人の

に仕えるイエスの実態を鋭く見抜 いたのである。 た神の権威、その神の権威に忠実

<u>{</u>

節

学院神学部入学を勧めた。ご長男 平洋戦争末期の硫黄島玉砕の史実 阿佐ヶ谷教会の在天会員。 が正善氏で、三男の藤田参郎兄は は藤田ジョナサン正武牧師、 とめ、その間に大村勇少年に青山 田正喜牧師。一九一五 (大正三) 官で、最期は戦死する藤田正善と から九年間日下部教会の牧師をつ いう陸軍中尉がいた。その父は藤 島守備隊司令官栗林忠道中将の副 をドラマにしたものだった。 映画「硫黄島からの手紙」 」は、太 次男 年

ろう。これに対して栗林は、「異な アメリカに駐在した頃の回想シー ることはあり得ません」と応え、そ 合、どちらを取るかという問いだ 方向と自分の信念が食い違った場 重しますか?」と聞かれた。国家の ン。彼が米国人と交わす会話で、 (faith) が異なったら、 どちらを尊 国の信義と自分自身の信 この映画に印象的な場面があっ 栗林中将がかつて武官として 義

生そのものである り、その権威に服従することが人

ものとして見出したのだ。 神の国に仕える道を、それに優る ける立身出世の道が絶たれたが、 どが出ている。彼らは新政府にお 植村正久や江原素六、平岩愃保な えるのは旧幕臣。 軽藩の出身だ。 ど諸藩。 東北列藩同盟の青森、仙台、会津な 政権争いの結果、 込まれた武士たちだった。 だろう。昨年青山学院は第二代院 信徒となって活躍した人々の多く 行事を開催した。明治期に牧師や 長の本多庸一先生没後百年の記念 それは「武士道」に共通する精神 明治維新によって逆境に追 本多庸一はその青森の津 負け組となっ しかしそこから 番の負け組と言

ある。 た。それが現在の阿佐ヶ谷教会で 三)年二月、自宅に伝道所を開設し 年の九月に関東大震災。それに奮 で細々と聖書講話を始めた。 (大正一二)年に、 の任期を終えて隠退後、 選ばれた平岩愃保は、八年の監督 起して平岩は翌一九二四(大正 日本メソジスト教会二代目監督に 急逝した本多庸一の後任として 東京郊外の自宅 一九二三 その

道会は大切にしていきたい。るこの全き献身の姿勢を、更新伝

献身礼拝式文の「誓約」を唱える。献身礼拝」で、ジョン・ウェスレー

、あなたのものです」。主に対す「私は、もはや自分のものではな

更新伝道会は夏の大会の

「追悼

開設した日は二月一○日(日)だったが、平岩は教会創立記念日をったが、平岩は教会創立記念日を 翌日の二月十一日と定めている。 翌日の二月十一日と定めている。 記とだ。今日なら国粋主義などと 言われそうだが、平岩牧師は神への忠誠と信仰によってこの国を建 てたいと考えたのだ。

生かされている場所に愛と責任

を持ち、ここを御国とするために努力する。そして私をここへ遣わしたもう権威に、身も魂も捧げて従う。そういう「神の国に仕える者」の生涯を、本多庸一や平岩愃保らは目指し、ローマの百人隊長はイエス・キリストの中にその究極を見出したのだ。



更新伝道会全体委員会報告

更新伝道会全体委員会は、例年通り、湯河原において、去る一月通り、湯河原において、去る一月二十九、三十日の二日間、開催された。出席者は二十八名。各教区の行事など、いろいろな所用で欠の行事など、いろいろな所用で欠の行事など、いろいろな所のこと。

開会礼拝では、新しく委員に加わってくださった小林克哉先生わってくださった小林克哉先生が説教された。明日の教団を背負が説教に教えられた。その後、人事問題を兼ねつつ、報告の時が持たれ、次年度からの態勢を話し合う時間が続いた。日頃は、なかなか交わせぬいろいろな議論に啓発されて「この会ならでは」の感発されて「この会ならでは」の感発されて「この会ならでは」の感

新伝道会の使命について述べられた教団副議長、伊藤瑞男のけられた教団副議長、伊藤瑞男の、礼拝、宣教、霊性について、そながら、その内にメソジストの信ながら、その内にメソジストの信ながら、その内にメソジストの信ながら、その内にメソジストの信ながら、その内にメソジストの信ながら、をいる、をいる、をいる、をいる、をいる。

二日目を迎え、朝の奨励では、更の念を強めた。

道会の新三役が誕生し、今後の更尽くされた故三木弘兄を覚えつつ、信仰の良い伝統を継承された三木信弘兄から感銘に富んだお証しを聞くことが出来た。

意義な話し合いが続いた。新伝道会の在り方をめぐって、

この全体委員会は、更新伝道会の総会をも兼ねている。過ぎた一年間を感謝すると共に、新たな一年に向かう大切な出発の時、交わりの時でもある。本年度も、回心伝道集会や、青山学院を会場にして、道集会や、青山学院を会場にして、がかれている夏の大会などを通して、メソジストの信仰と宣を通して、メソジストの信仰と宣を通して、メソジストの信仰と宣をがらながら散会した。



更新伝道会大会閉会礼拝

「死に至るまで忠実であれ」

小 友 聡 東京神学大学·中村町教会



スミルナの教会の信徒たちはひどヨハネの黙示録二章によると、

・迫害を受け、耐え難い苦しみに

先生から神学校卒業記念に頂戴しという言葉は人を厳粛な思いに導きます。この御言葉は、私が使用している日本基督教団口語式文の扉に黒々と書かれています。この式に黒々と書かれています。この式の場所である。

れ」、と呼びかけます。

て恐れず、「死に至るまで忠実であに向かって御使いは、苦難を決し喘いでいました。この教会の人々

す。 として私の心に強く迫ってきま いう御言葉が、今、西堂先生の遺言 西堂先生は二〇一一年一一月九日 向けて私は歩んできました。その を捧げる牧師になれよ。」この言葉 もいいから、教会のためにすべて を受けました。「小友君、不器用で うど同じ日に私は奥羽教区で按手 教会を辞し引退されました。ちょ 堂先生はその通りになさって、一 だけを残すものだ、と言われた西 りました。 た。「死に至るまで忠実であれ」と に九四歳で主の御許に召されまし ないことに先生の言葉に半ば背を を託されたにもかかわらず、情け 九八八年一一月二四日に本多記念 私は西堂先生から洗礼を授けら 、先生を慕い、献身して牧師にな 牧師は何も残さず教会

です。共にメソジストの牧師とし方々は西堂昇先生と森里忠生先生今年度、更新伝道会で追悼する

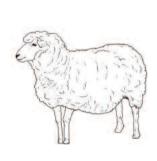
方々です。 走り終えて、主の許に召されたの人々をキリストに招き、人生をて、伝道と牧会に捧げ尽くし、多く

この二人の敬愛する牧者に共通するのは、長寿を全うされたといするのは、長寿を全うされたということだけではありません。西堂先生も森里先生も、共にメソジストがした。戦時下で神学部ツジストでした。戦時下で神学部を卒業し、戦地に応召され、戦後にを卒業し、戦地に応召され、戦後にを卒業し、戦地に応召され、戦後にを卒業し、戦地に応召され、戦後にを卒業し、戦地に応召され、戦後にを卒業し、戦地に応召され、戦後にをの再建を果たし、伝道に生涯を奏の再建を果たし、伝道に生涯を捧げた牧師たちでした。

先生も同じであったに違いないと せた。生き残った自分たちは彼ら 声で呼びながら、 雪で前が見えず、寒さで指先が泣 我らメソジストの牧師の誇りだっ った神学部の仲間たちの名前を大 きは、私は、戦地で死んで帰らなか 川原で開拓伝道をした。冬は地吹 とがあります。「私は終戦後、五所 彌先生から印象深い証を聞いたこ た」。この思いは、 の分まで伝道するのだ、と。それが きたくなるほど痛くなる。そのと 西堂先生の同僚であった菊地吉 自分を奮い立た 西堂先生、森里

Iされた ちは死に物狂. 人生を この最後の. し、多く 思わされます。

うか。メソジストの先輩牧師たち ちは死に物狂いで戦後の日本伝道 も従います、と信仰の応答を共に います。「死に至るまで忠実にあ たちにも求められているのだと思 す。それこそ死に物狂いで伝道し 主題は「伝道するメソジスト」で りません。今回の更新伝道大会の れている言葉だと言わなければな スタルジックに眺めてはいないで した。今、更新伝道会はどうでしょ 牧師たちを通して私たちは福音 を担い、教会を再建しました。この したいと心から願います。 れ」という御言葉に、主よ、私たち た最後のメソジストの牧師たち れ」とは、今、この私たちに求めら しょうか。「死に至るまで忠実であ の伝道姿勢を古き良き時代、 言葉に触れ、キリストに出会いま この最後のメソジストの牧師た あの伝道へのスピリットが私 とノ



第136号 ごあいさつ

会長 大村



た。日下部は大村家の出身教会で 県の日下部教会主任に就任しまし

私はここでメソジストの伝統



明の視覚障害者だったので、ヨハ に二十年以上経ちます。 勇です。二人とも亡くなってすで の兄は元阿佐ヶ谷教会牧師の大村 設に参加し、議長を勤めました。父 教盲人伝道協議会(略称盲伝)の創 に付けました。父は日本キリスト ネ福音書九章から、この名を教会 に開拓した教会です。父は中途失 した。同教会は父大村善永が戦後 シロアム教会牧師館で生まれま 私は一九五四年に東京高田馬場

ました。二年後の一九八六年、山梨 妻の元で会堂建築の時期を過ごし 伝道師に招かれ、大宮溥先生ご夫 了し、一九八四年に阿佐ヶ谷教会 私は三〇才で東神大大学院を修

> 持てないのはおかしい」。 ちである。 神の道に殉じようと献身した方た る時の「証」でこう語りました。 信吾さんという方でした。彼はあ を学びました。 いるのに、献身者に対する尊敬が 「牧師とはこの世の道を捨てて 私を招聘した時の幹事長は野中 私たちが献身できずに

_° ∫ } る。 暖かい聖霊による交流が感じられ 牧師を愛し、立てている教会には が、 経験から多くの教会を見てきた に貧しい小さな教会でも、信徒が はどこか力が抜けている。どんな 「東海教区の会計を長く務めた 信徒が牧師を敬愛しない教会 私たちの教会もかくありた

ついで回りました。 では玄関で皆の靴を揃え、 は尊敬される人物でしたが、 んのほかにも数人、メソジストの 野中さんは旧家の出身で地域で 日下部教会ではこの野中信吾さ お茶を

> 森里信生、大木英二の先生方に次 ど。戦後は堺直武、林明、 の結城無二三以下、戦前は小野善 私は二三代目の牧師でした。初代 りました。一八八四年の創立以来 しょう。それを覚えたいものです。 その信仰を伝えてきたと言えるで トは、理念や教理を超えて、人格で いで私は六人目でした。 太郎、藤田正喜、平野一城各牧師な に、牧師の交替による柔軟性があ もう一つ日下部で学んだこと 生原優

ます。 しょう。現代の教団も、そのような 督制・任命制の良い面と言えるで 教会への信頼があったのです。監 それ以上に、派遣母体である公同 遣される牧師への信頼と同時に った自主性、積極性が育ちます。派 信徒には柔軟性と同時に、 信頼を得ることが出来たらと願い これだけ頻繁に交替があると、 筋の通

られたと思っています。メソジス いました。私はその人たちに育て 「信仰の達人」とも言える信徒方が 期 た。

させていただくにあたり 副会長のご奉仕を

副会長 岸 憲秀

教区の清水教会に六年仕えまし 伝道会の会長職に任じられまし に転じました。そしてこの程、更新 〇二年に阿佐ヶ谷教会の主任牧師 た。そしてその間に教区書記を二 日下部に十年いた後、 ·副議長を一期務めました。二〇 よろしくお願いいたします。 同じ東海

> 張らぬように、せめて、それくらい いませんが、大村栄会長の足を引っ ます。もとより、ふさわしい器と思 りかと、恐れつつ、聖名を崇めてい 神さまの思われることはいかばか ろうとは思いもよらないことです。 ころ、まさか、このようなことにな 二人で書記をさせていただいたと き継ぎのつもりで岩本聖史先生と 退かせていただこうと、昨年度は引 として、鵜飼勇先生、佐野英二先生 れ多いことと思っております。書記 仰せつかり、真に光栄なことと思っ は、との思いです。 をさせていただき、そろそろ書記を というお二人の会長のもとで奉仕 ております。同時に神さまの前に恐 このたび、更新伝道会の副会長を

部長であった深町正信先生に強く センターにいたところ、当時の宗教 体ACF(青山キリスト教学生会) 青山学院大学のキリスト教活動団 でした。夏休みにもかかわらず宗教 の会長をさせていただいていた時 加したのは大学三年生の時でした。 はじめて更新伝道会の大会に参

先輩太田實牧師 ける

藤村 和義

それを思い出して、息子の将来 師が献身すると言われたとき、 上が黒石教会の会計をしておら あった。説教中の小友聡師は、 を思って?泣かれたというエピ れた頃太田師が赴任して来られ に太田實牧師の召天の知らせが し上げられなくて大変気の毒だ たと思われていたので、 ードを語られた。 -年の更新伝道会大会の最 ほんの僅かの謝礼しか差 小友 母

男笹森建英兄の誘いで弘前教会 新年第二週の献身奨励の礼拝 洗された。絵が上手で、画家にな に在学中、笹森順造塾長のご長 和四年) 弘前に生まれ、 出られた由 るつもりだったが、 た船水衛司氏に指導されて、受 に出席し、 太田實牧師は、一〇二九年 招きに応じて、「恵の座」に 聖書を教えておられ (更新伝道ニュー 弘前教会の 東奥義塾 丽

> 三郎師、 りにしておられた。 0 師 の旧神学部出身の教師と石原献 脇屋義人師、 師 の学科は、気賀重躬師、松本卓夫 学科の一期生として学ぶ。 れ つもりが、 ような教師に学べたことを誇 て、青山学院大学キリスト教 そして、 浅野順一師などであった。 比屋根安定師、石井次郎師 奥田耕天師、 笹森師に強く勧めら 東京神学大学に入る 中村獅雄師、 岡田五作師 高柳伊 当時 ح

絵について語られたと聞く。 ば他の教会などに行きミレー れて橋本教会に出席、 応されたという。数年後、 をする若者にもとても親切に対 ャプレンを兼ねられた。結婚式 ら蒲田教会、また、青学会館のチ 年九段教会、一九九〇年ごろか の後、片瀬教会を経て、一九八四 伝道ニュース十一号にある。 年、その時の「伝道報告」が更新 本町教会、ここが一番長く十三 会、そして、一九六五年から山形 教会であった。数年後、 最初に赴任されたのが、 乞われれ 、隠退さ 毛呂教 黒石 そ . の

> 8 1

ら参加され、 更 、新伝道会には、 一九八二年委員若 ほぼ最初か

(渋谷教会牧師

教えてくださった。 普及委員、 輩が更新伝道会の集会に出席す 院キリスト教学科 た。 返りの方針で常任委員になら 委員になると、 ともに喜んで歓迎してくださっ ると、広瀬泉造師、真壁勝一師と 特に同時に私がメソジスト それ以前から、 そしてすぐ後に常任 親切にいろい 私たち青山 神学科の後 ろ ħ

歳であられた。 問するたびに太田師を見舞 かに最後を迎えられた。 た。キリスト教主義の病院で、 は入院している教会関係者を訪 れ 約十年前からご病気に 誠志会病院に入院された。 八十三 な 静 私 つ

号、「回心とは何か」五二号、「郷 内的進展の諸相」三五号、 としたウェスレーの回心に至る 更新伝道ニュースに書いておら ために」六〇号など。 架止まりの信仰』から脱皮する 里弘前を訪ねて」四五号 『十字 れる。「彼自身の手記のみを資料 か、 スの編集委員を務められたた なお、太田師は、 いくつかの論文や報告を 更新伝道ニュ

> 返しのつもりで、お仕えしていきた ことでしょう。そういう意味でも恩 子どもたちの信仰生活が養われた れる皆さんに支えられ、おそらく、 きが、ここにあると思っています。 むしろ)信仰生活を支える大切な働 でした。しかし、私の信仰生活にと たのが、更新伝道会との「はじまり」 勧められ、半ば強引に連れて行かれ たちの難しい時期を大会に出席さ とは幸いなことです。牧師の子ども 子どもたちと、同じ場に加われるこ ていただきましたが、思春期に入る が小さい頃には多くの方々に支え 加させていただいています。子ども お、私の(伝道者生活というよりも ました。それは、今日に至ってもな ってかけがえのない出会いとなり また、毎年の大会では、 家族で参

りましょう。 ないでしょう。更新伝道会が神さま ますように、 の必要にかなって豊かに用いられ べきことは挑戦していかねばなら くことが願っています。 さえていくこと、そして広がってい いと思っています。 に、変えるべきことは変え、 最後に、更新伝道会の働きが継承 共に祈って励んでま そのため 、挑戦す

更新伝道会の一員に加えて頂きた

れました山添先生のご指導を受け

いと願いました。西千葉教会伝道師

新書記紹介

私は日本フリー メソジスト教団

み出たとき、信仰の故郷に帰ったよ れました。青山学院の恵みの座に進 道会大会に出席する機会を与えら 練や挫折の中にいた時期に、更新伝 うな安らぎを得たこと、鵜飼先生の に入学を許されましたが、様々な試 えています。その後、 た。献身の祈りと共に東京神学大学 に属する牧師の家庭に生まれまし **説教に感動を覚えたことをよく覚** 過日、

年度からでも結構です。 費と献金とで行われています。 会費をぜひとも早いうちにお納 更新伝道会の活動は会員の 長年お忘れの方は今

会費納入のお願い

ら書記の仕事に当たりたいと願っ 受け継ぐべく、お力添えを頂きなが 力な者ですが、メソジストの伝統を ています。ご指導、ご鞭撻を賜りま け得て感謝しています。まことに微 ようにお願い申し上げます。 いろいろな先生方のご指導を受 現在の白鷺教会に至るま

神の御声を聞いたなら カナダ・メンジスト教会婦人宣教師の物語

講演 東洋英和女学院前高等部長 佐藤順子先生 礼拝説教 松井 睦 牧師 日本基督教団聖徒教会 「練達は希望を生む」ローマの信徒への手紙5章1-5



2013年5月24日(金)18:30-20:30 会場 日本基督教団 聖徒教会

更新伝道会 ウェスレー回心記念日集会

います。彼の御臨在の前で、天国へ

私はただ神のみがここに

『ウェスレーの黙想と祈り』 ドナルド・E・デマレー編より

書の人 (Homo Unius Libri)

それが、キリスト・イエスに対す ことを知っている。」 る信仰によって救いに至る知恵 また幼い時から、聖書に親しみ あなたに与えうる書物である

(Ⅱテモテ三・一五

さい。それで今や、私は、人々の忙 すなわち、どのようにしてあの幸 すなわち、「一書の人」としてくだ ここに私のための十分な知識があ 私はそれを持っている。すなわち も、ぜひその聖書を私にください。 にください。どんな代価を払って しるしおかれた。ああ、その書を私 れた。彼はそれを一つの書の中に この目的のために彼は天から来ら の道を教えてくださった。まさに たい。神は御自ら、身を低くしてそ いな岸辺に安全に着けるかを知り しい道からはるかに離れてここに 私は、一つのこと、天国への道 私をして Homo Unius Livri

> 61 なたのみこころを知らせてくださ を行いたいのです。どうか、私にあ う」と言われました。私はみこころ であれば、だれでもわかるであろ え、とがめられません」。あなたは、 せんか。あなたは「惜しみなく与 い」とは、あなたの言葉ではありま ば、 知恵にふそくしている者があれ ろの光の父へ私の心を挙げる 関して疑いがあるか。私はもろも 読みます。 「神のみこころを行おうと思う者 の道を見出すために聖書を開いて その人は神に願い求めるがよ -主よ、「あなたがたのうち、 私が読む箇所の意味に

祈 h

(1) そして、私たちが、あなたの豊かな 5 って支配されることを、常に私た ₹2 の勧めに従い、いっさいの事にお 誤りのない知恵に導かれ、あなた さげいたします。どうか、あなたの ていただくために、あなたにおさ あなたのみこころによって支配し とを、私たち自身の意志によらず、 つくしみと、私たちに対するや て、あなたの聖きみこころによ 私たちは、 の心の喜びとさせてください。 私たちの魂とからだ

> さい。アアメン。 ようなことのないようにしてくだ さしいご配慮とを決してうたがう

ある。 リスト・イエスにあって神に生き 罪に対して死んだものであり、キ ている者であることを認むべきで このように、あなたがた自身も、

(ローマ六・十一)

霊によって生かしてくださったの 増して行く。そして今や、彼は生き 測り知ることのできない平和」を である。すなわち、神が御自身の御 ているのだ、と本当に言い得るの ある。これらを用いることによっ な善悪を識別するように働くので で、彼のすべての霊的感覚は霊的 がれている神の愛」を感じ、そこ っている聖霊によってその心に注 自覚している。その人は、「彼に賜 に感じる人は、「人知ではとうてい て神に生きる者である。彼は、 で、彼はイエス・キリストによっ て、彼は日ごとに神を知る知識を 神の御霊の力強い働きを心の中

> 彼の魂は神に呼ばわる。 るまで成長して行くのである。 ストの満ちみちた徳の高さ」に至 な、御父と御子とのこの交わりに の交わり、一種の霊的呼吸のよう 昇って行く。つまり、神と人とのこ の心にくだり、祈りと賛美は天に でいてくださるのである。そして、 を生きている。神は絶えずその魂 は持続され、神の子どもは、「キリ よって、魂の中にある神のいのち に、いわば、いのちの息を吹き込ん 恵みは彼

祈 ŋ

情を置くことができるようにして ちが義とされるために甦られたあ 世の空しいものを慕うことがな る愛をもって生かし、もはやこの せん。私たちの心をあなたの聖な 生き、あなたなしには、生きられま エスよ、私たちは、あなたにあって ください。アァメン。 なたにのみ、ひたすら、私たちの愛 く、私たちの罪のために死に、私た ああ、 栄光に輝いておられるイ

『ウェスレー黙想と祈り』 森文彦・島隆三・池本善彦共訳 ドナルド・E・デマレー編 福音文書刊行会

神のうちに隠されているいのち_

しらないいのち、「キリストと共に

前年度の反省より、会の茶菓代を

書

記

報 告

第一回常任委員会議事録 更新伝道会 二〇一三年度

場所:銀座教会五階会議室 研四郎、坂井賢治、長山信夫、 澤しのぶ、中井幸夫、西田寛子、森 梅津裕美、鵜飼栄子、富士松武子、伊 本聖史、張田眞、高田和彦、林牧人、 出席:大村栄、石渡伸一、岸憲秀、岩 後三時~午後四時半 日時:二〇一三年三月五日 (火) 午 Щ 囲

開会祈祷

大村栄会長

喬夫、米山恭平

(陪) (一八名)

道

①全体委員会報告 (岩本書記)

旨を確認 付し、委員委嘱状を全員に送付する 総会欠席者に対して、総会資料を送

②回心記念集会(委員長:張田眞)

③出版委員会(担当:藤村和義欠

西田、 史について」(案)など ソジストの教育機関」「宣教師の歴 八時半、会場:聖徒教会、テーマ「メ 女学院前高等部長 講師候補:佐藤順子(前東洋英和 委員構成:張田(委員長)、石渡 日時:五月二四日(金)、六時半~ 林、岩本、富士松)六名

③更新伝道会大会(委員長:坂井賢治)

より、 る。 会場:青山学院大学、前年度の反省 日程:八月二六(月)~二七(火)、 総研ビル十二階を会場とす

米山 スト」(案) テーマとして「グローバルメソジ 委員構成:坂井(委員長)、中井、 伊澤、 岩本、 岸、六名

4その他

当:岩本聖史)次号を作成中。 間の応答―」発題者:堀川樹 神学 当:林牧人) 三月五日 (火) 主題 九段教会員)三六名出席(一四教会) 生(東京神学大学大学院修士二年: ェスレーの救済論―神の主導と人 ②「更新伝道」誌編集委員会 ①ウェスレー研究会委員会 ~「ウ (担 (担

出版したいと考えている。 席の為、岸副会長代理報告)「サーバ だけだが、できれば、更新伝道会で のチャプレンの著作。現在は韓国語 ント・リーダーシップ」(協成大学 長山姉の讃美歌集

資料をどのように活用していくか 委員会の役目としては資料収集と ④資料収集 (担当:森研四郎)

が課題。現在資料は鎌倉教会、銀座

弘 添、 用も課題。委員構成:森、 教会に保管。以前都田ファイルの活 ⑤国際交流 (佐藤安彦委員は辞任する) 中井、林、 原、 松木田、 黒田、 三木信 田

か。 韓国訪問:二月二七日~三月二日 七名出席。六月九日久山康彦先生 伝道会としての交わりが持てない (来日。九段教会で説教される。更新

件かの人事相談を受けている。 青森、甲府、長野への訪問を計画。 ストのネットワークを広げるため。 委員会 (担当:大村栄) 更なるメソジ ⑥伝道協力、人事相談、次世代小 何

その他

会を活性化させるために活用。更新 方法を考える。 伝道会現行のHPと連携して活用 更新伝道会SNSを立ち上げる。

次回常任委員会開催予定

する。

閉会祈祷 岸憲秀副会長 日時:五月七日(火)午後 時半集合 於:銀座教会(会場設営のため 一時~四

(担当:高田和彦) 10 月 会費

次回より各委員会は、総会提案の

新しい委員会単位で報告する事と

会計 報告

更新伝道会 二〇一二年十月一日~一三年二月末 個人会費他

千郎 岸 子 金田 村謙一 小菅成幸 憲秀 真鍋恵三 星野久雄 温 山田喬夫 恵 西 Ш 佐藤 中 和

12 月 1 月 張田 佐久本正 田尾治郎 眞 志 杉山 伊 洋子 藤 地 下 塩

2 月 隆三 小林克哉 郎 山内一郎 伊藤瑞男 愛澤豊 勝 重 Ш 島 健

10 月 寄付・献金

江藤園子

11 月 佐藤千郎 真鍋恵三

金

田

温

12 月 張 保々和宏 田 眞 山口文恵 吉富 美 幸

伊藤地 山内一郎 塩 笠原个可 伊 澤し の ž

1月

2月 山健 小林克哉 郎 伊藤瑞男

勝

橋本 淳 進